



ハクサイ

種まきの時期が重要

和田義弥

夏の暑さがピークを迎えるこの時期、ゴーヤーやオクラなど高温を好む野菜が旺盛に成長する一方、4月頃に種をまいたトウモロコシや枝豆は収穫を終えます、トマトなども弱ってきたら早めに撤収し、秋冬野菜の準備を始めましょう、

冬の鍋などに活躍するハクサイも、種まきは夏です、一般的な結球型ハクサイは、80～100枚もの葉が重なり、1玉2～4^キほどになります、

ハクサイが結球を始めるのは10月頃、しっかりと結球させるにはそれまでに20～30枚の葉が必要です、種まきが遅れると十分な葉が育たず、球がかたく締まらなかったり、まったく結球しなかったりということがよくあります、種まきの時期はとても重要なのです、

でも、仮に結球しなくても食べられますので安心して下さい、また、春にトウ立ちしたハクサイも食用ナバナにも負けない味わいで、おいしいですよ、

育て方

種まき時期は、関東の平野部であれば8月中旬～下旬です、5×5^{センチ}のセルトレーなどに種まき用の土を入れ、3～4粒ずつまいてください、覆土は5^{ミリ}くらいです、

発芽後、本葉2枚で1本に間引き、育苗ポットに移して本葉4～5枚まで育てます、最初から育苗ポットに種をまいてもかまいません、植え付け時期に苗をホームセンターなどで手に入れることもできます、

植え付けは9月中旬頃、畝は幅60^{センチ}、畝間30^{センチ}、高さ5^{センチ}くらいで、株間は550～60^{センチ}です、ハクサイは比較的肥料を必要とするので、元肥はたっぷり施してください、アオムシやヨトウムシなどの害虫がつきやすいので、寒鈴紗(しゃ)をかけるなど防虫対策も万全に、

追肥は本葉10枚のころに1回目を、その2週間～20日後に2回目を行います、10月中旬くらいまでに葉の大きさ、枚数が十分であれば結球が始まります、



結球したハクサイ。頭を押し
てみて締まっていたら収穫

収穫は11月中旬以降、球の頭を軽く押してみ、かたく締まっていたら、包丁などで株元から切り取ります、

なお、越冬させる場合は、開いている外葉で球を覆い、ひもでしばっておけば、2月くらいまでそのまま畑に置いておけます、

(写真)

